

網走市新庁舎建設に係る説明会 議事録

説明先：潮見地区

開催日時：令和元年7月9日（火）18時30分～20時00分

説明会場：潮見コミュニティセンター

出席者：21名

Q1. 今後予定している市民アンケートでは、なぜ建設位置について問わないのか？

- ・アンケートで2,000通郵送しても回収率はその4割から5割程度であるならば、説明会でも同程度の方から直接ご意見を伺える方が、より具体的な市民意見の集約になると考えた。

Q2. 3.11 東日本大震災の経験から高台という意識がある。訓練でも潮見は下エリアから受け入れるという訓練をした。そういう意味で防災拠点としてなぜ金市館なのか、もっと市民に説明すべきであり、検討で抜けているのが、防災拠点として冬の流氷到来時に津波が発生した場合、押し寄せた流氷の速さと硬さでコンクリート以上の破壊力があることが、流氷祭りの雪像を使った実験で示されている。そうすると幹線道路が混乱してうまくいかないということを市民が知らないと思う。

- ・候補地の選定において、市有地で大きな敷地はどこか、地方自治法に合致して今より市民が不便にならないか、災害対応が可能かどうか、経費をかけずに建設できるのはどこかを考えた。
- ・津波に関して、防災拠点として現庁舎が使用不能になれば、潮見の消防南出張所に移す2段構えの体制である。
- ・地震の危険度は高台も下エリアも同様であると考えた。
- ・昼間は、上エリアに1万人、下エリアに1万人の方がいて、働いている方の7割が下エリアで、3割が上エリアで働いている。津波が発生した場合に下エリアにいる方の命を少しでも救うためには、新庁舎に一時避難機能を持たせるべきではないかと判断した。
- ・庁舎を守るという観点では高台が良いということは理解している。現庁舎敷地や金市館ビル跡地周辺敷地ともに津波ハザードマップでは浸水想定区域外であるが、想定外のことも含めて金市館ビル跡地周辺敷地が適地と判断したひとつの理由である。

Q3. 網走市の人口動態は6割が潮見・駒場・つくしにある。中心市街地に賑わいを取り戻すのではなく、高台に持ってくるチャンスで、幅広い議論をすべき。国の支援10億円のために急いで40億円かけるならば、時間をかけて議論をしながら、将来人口規模に見合った庁舎規模にすることで国の支援なしの40億円で建

設できれば良いのではないか？

- 50億円は概算費用であり、建設費用を圧縮したいと考えている。また、市の2040年人口推計では28,800人程度になるだろうと考えられ、市職員数も含めて執務スペースを中心にできるだけ面積を圧縮したいと考えている。
- この国の支援を受けられる期間に、40億円、30億円と圧縮すれば約20%の支援は受けられることから、やはりこの期間に検討を進めていきたい。間に合わなければ全額市の負担となってしまう。検討委員会に議論の材料として報告する。

Q4. 市民検討委員会は各団体の代表による充て職であり、代表が変われば委員も変わるのか？

- そうなる。

Q5. 9月上旬の第3回検討委員会では、建設場所を決定すると聞いているが？

- 市が示したスケジュールではそのように考えている。7月末までに説明会で市民意見を集め、検討委員会に報告する。その中で議論をしていただき、議論が足りないということであれば適時に議論を行う、期間を延ばすなどの方法があるが、2020年度実施設計に間に合わせたい。

Q6. このような検討委員会では、事務局である市役所が作成した案を押し付けてそのまま決定するだけのものになると思われる。出された疑問などを公表してほしい。

- この説明会も同様に検討委員会の議事録も公開する。
- 例年8月頃に開催している、まちづくりふれあい懇談会で、これまで出された疑問に対する検討委員会や市の考え方をお答えしたい。

Q7. 適地を記載することがおかしい。5候補地から選べるようにすれば良い。なぜ適地を記載するのか？

- 候補地5ヶ所の中で、どこが良いですかと市民に問うのは、市として無責任であると考えている。市ではさまざまな情報や資料を得られる立場にあるため、消去法も含めて整理した上で、市としてはここが良いのではないかと示した資料で、考え方を明確にした上でご意見を伺っている。

Q8. 4条商店街が活性化しているのか？

- 庁舎が金市館ビル跡地周辺敷地に移転したからといって、すぐに活性化するとは考えていない。地域の活性化に対して市役所ができることは限られている。商店街のみなさんの奮起に期待したい。

Q9. 想定外の津波を想定して50年、100年先の将来を見据えて建設してほしい。

想定外の災害が起きるかもしれない。誰が金市館ビル跡地に建てた庁舎に逃げる？避難訓練したら避難場所でなかったという町もあり、無責任な話である。そういう意味で高台が一番安全だと思う。潮見にはスーパーがない。買い物難民が増える。複合施設としてほしい。公共交通はあとから付いてくる。役所の力で何とかしてほしい。

- 津波に対しては高台が安全であると考えている。高台地区への建設や複合施設という要望は、検討委員会に報告する。
- 市の考え方としては、現在下エリアにない津波に対応する命を救う施設が必要ではないかという考えである。
- 公共交通に関しては、農大線、女満別空港線以外は全て赤字である。新たに路線を増やすことはリスクが高いだろうと推測している。
- 向陽ヶ丘地区では、今はバス1本で下エリアへ行けるが、高台地区へ移転されると乗り換えが必要になり、今より不便になるのはあり得ないという意見もある。
- 駐車場が不便になってしまうことがないようにしてほしいという要望もある。

Q10. 除雪センター、市営桂町球技場の「経済性と実現性」の評価が×の理由を教えてください。

- 除雪センターの移転先を決めるまでの時間や、場合によっては用地取得や建物の建設費といった庁舎の建設以外の費用が大きくなるためである。
- 市営桂町球技場については、グラウンドとして使用があり、その移転に時間がかかってしまう。
- また、都市計画変更の手続きが必要であり、その時間もかかってしまい、国の支援が受けられないことになる。

Q11. 地震や津波に対しては、まちなかは危ないと思う。まちなかで働いている人数を教えてください。

- 15歳以上では、夜間は上エリアに約1万7千人いる。下エリアには約7千人いる。昼間は上エリア約1万1千人、下エリア約1万人となる。

Q12. 庁舎に特定の企業が入居する噂がある。

- そのような事実はない。国の財源支援の期間延長の話がなかった時は、民間に建設してもらい賃貸する方法やPPPなどの方法も検討していた。

Q13. 技術的には現本庁舎敷地に建設することは可能だと思うが、適地にならない理由を教えてください。

- 建て方によって異なるが、仮庁舎や仮駐車場の確保、仮議場の確保、解体費などの経費もかかるし、完成までの時間も非常に長くなる、工事中の市民の庁舎利用に不便をかけるなどのことから適地にはならなかった。